

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2028年3月15日まで（2020年1月24日設定）	
運用方針	マッコーリー オーストラリア・ハインカム債券マザーファンド受益証券、マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券およびマッコーリー オーストラリアREITマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの債券、株式および不動産投資信託証券等に投資を行います。なお、豪ドル預金または円預金等を活用することがあります。 債券、株式および不動産投資信託証券への資産配分比率は原則として40：40：20を維持することを基本とします。なお、資産配分比率は投資環境等に応じて見直すことがあります。投資環境の大幅な悪化が予想される場合には、株式および不動産投資信託証券の実質組入比率を引き下げ、投資リスクの抑制を図ります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。各マザーファンドの運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビード ファンド	マッコーリー オーストラリア・ハインカム債券マザーファンド受益証券、マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券およびマッコーリー オーストラリアREITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マッコーリー オーストラリア 高配当株式 マザーファンド	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とします。
	マッコーリー オーストラリア REIT マザーファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マッコーリー オーストラリア ハインカム債券 マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	マッコーリー オーストラリア 高配当株式 マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	マッコーリー オーストラリア REIT マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

オーストラリア好利回り 3資産バランス＜為替ヘッジあり＞ （年2回決算型）

愛称：実りの大地（ヘッジあり）



第6期（決算日：2022年9月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「オーストラリア好利回り3資産
 バランス＜為替ヘッジあり＞（年2回決算型）」は、
 去る9月15日に第6期の決算を行いました。ここに
 謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い
 申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

「マクコーリー」の商標は、マクコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。Macquarie Bank Limited (以下「MBL」といいます)を除き、当資料に言及しているマクコーリー並びにマクコーリー関連会社は何れも1959年銀行法(オーストラリア連邦)上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		税金込み 分配	騰落率						
	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円
2期(2020年9月15日)	8,883	70	1.0	35.7	—	37.7	△0.5	17.3	29
3期(2021年3月15日)	9,743	65	10.4	38.8	—	38.0	△1.2	18.7	35
4期(2021年9月15日)	10,503	55	8.4	37.3	—	36.8	△0.8	18.6	68
5期(2022年3月15日)	10,222	65	△2.1	38.3	—	35.7	△0.9	18.1	70
6期(2022年9月15日)	9,537	40	△6.3	32.6	—	38.0	△0.1	16.5	90

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	標準価額		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	騰落率					
(期首)	円	%	%	%	%	%	%	%
2022年3月15日	10,222	—	38.3	—	35.7	△0.9	18.1	18.1
3月末	10,437	2.1	37.2	—	35.7	0.4	18.9	18.9
4月末	10,292	0.7	36.7	—	37.0	△1.5	18.4	18.4
5月末	10,053	△1.7	38.5	—	37.1	△0.4	19.0	19.0
6月末	9,416	△7.9	34.1	—	37.5	△1.5	17.0	17.0
7月末	9,627	△5.8	33.4	—	36.9	△0.9	16.9	16.9
8月末	9,679	△5.3	33.9	—	37.9	△0.5	17.1	17.1
(期末)								
2022年9月15日	9,577	△6.3	32.6	—	38.0	△0.1	16.5	16.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

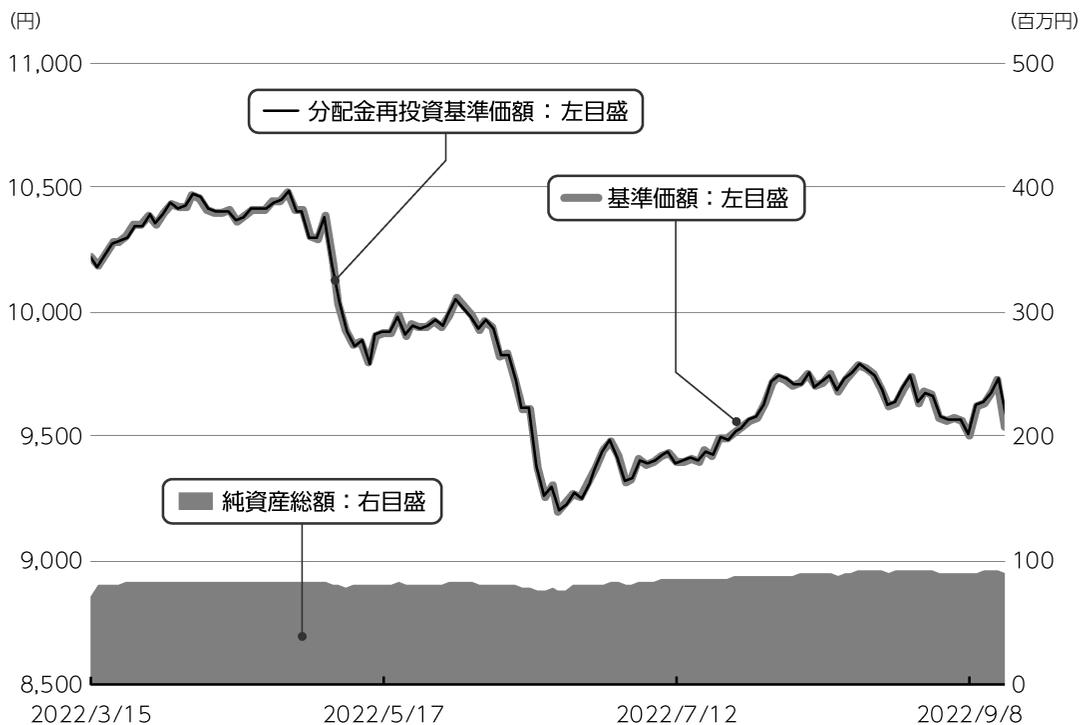
(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第6期：2022年3月16日～2022年9月15日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第6期首	10,222円
第6期末	9,537円
既払分配金	40円
騰落率	-6.3%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.3% (分配金再投資ベース) の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

オーストラリアの債券市況、株式市況及びリート市況が下落したことなどがマイナス要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率 (対純資産総額)
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	9.7%	39.7%
マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド	-1.7%	17.0%
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	9.7%	34.2%

第6期：2022年3月16日～2022年9月15日

投資環境について

▶ 株式市況

オーストラリア株式市況は下落しました。
 期初から2022年6月にかけては、中国での都市封鎖や各国中央銀行の金融引き締め加速への警戒感などを背景に景気後退懸念が高まったことなどから下落しました。その後は、オーストラリアや米国などの一部経済指標でインフレの鈍化が見られたことなどから上昇しました。

▶ 債券市況

オーストラリアの社債市況は下落しました。
 債券市場では、豪州準備銀行（RBA）

が利上げを行ったこと等から、オーストラリアの金利は上昇しました。こうした環境下、オーストラリアの金利が上昇したこと等がマイナス要因となり、社債市況は下落しました。

▶ オーストラリアREIT市況

オーストラリアREIT市況は下落しました。

米国やオーストラリアでの金融引き締め策により、景気悪化懸念などが意識されたことなどが背景です。また倉庫需要が減退していること等への警戒感も、投資家心理を慎重な姿勢へと変化させました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>（年2回決算型）

期初は、債券、株式およびリートに対する資産配分比率は、40：40：20の基本配分比率としていました。

その後、世界的な景気減速への懸念などを受け、2022年6月15日に資産配分比率の見直しを行い、投資リスクの抑制をはかりました。

以降の資産配分は、債券：株式：リート

=40：35：17.5を目標とし、運用を行いました。

実質組入外貨建資産については為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

▶ マッコリー オーストラリア高配当株式マザーファンド

銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待

される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。

銘柄入替では、高い配当利回りと安定した利益成長が見込まれると判断したことなどからSMARTGROUP CORP LTDなどを新規に組み入れました。一方で、金利上昇が事業環境に悪影響を及ぼすと判断したことなどからBRICKWORKS LTDなどを全株売却しました。

▶ マッコリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れる運用を行いました。

豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行っています。

また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。

デュレーションについては、2022年8月末時点において市場平均と比べて長めとしました。また、債券種別配分については、相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れました。

▶ マッコリー オーストラリアREITマザーファンド

REITへの投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期
	2022年3月16日～2022年9月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	40 (0.418%)
当期の収益	40
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	762

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり> (年2回決算型)

オーストラリアの債券、株式およびリートへ実質的な投資を行います。

債券、株式およびリートへの資産配分比率は、40：40：20を維持することを基本としますが、投資環境の悪化などを背景に、2022年6月15日に基本資産配分比率の見直しを行い、債券、株式およびリートへの資産配分比率は、40：35：17.5としています。

なお、引き続き更なる投資環境の悪化が予想される場合には、段階的に株式・リートの実質組入比率を引き下げ、豪ドル預金等の組入比率を引き上げ、投資リスクの抑制をはかる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ マッコリー オーストラリア高配当株式マザーファンド

引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。

▶ マッコリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

オーストラリアでは、地域やセクターで経済の回復の程度にばらつきがあるもの

の、ハイ・イールド市場を含めた社債市場全体で見ると、デフォルト率は低水準にあり、今後、同水準が続くことが見込まれます。また、商品価格の見通しの改善が市場の上昇要因になると考えられます。今後は地政学的リスクの高まり等、想定されるリスク要因をふまえて、米国、オーストラリアの景気動向や金融政策等、オーストラリア社債市況を取り巻く環境を注視しつつ、より慎重な銘柄選択を行っていく方針です。

債券種別については、引き続き相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れる方針です。ファンドのデュレーションについては、債券先物を適宜活用しつつ市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

▶ マッコリー オーストラリアREITマザーファンド

オーストラリアREIT市場では、高金利と高インフレ、景気後退リスクの高まりなど、新しい経済環境やリスクに直面しており、質を重視した投資戦略が重要性を増していると考えています。持続可能な成長が期待され、財務の健全性が高いなどの高品質な不動産への投資機会を探る方針です。

運用につきましては、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

2022年3月16日～2022年9月15日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	82	0.832	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(47)	(0.477)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.333)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.031	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(2)	(0.021)	
(投資信託証券)	(1)	(0.008)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	7	0.074	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.064)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(1)	(0.009)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	92	0.938	

期中の平均基準価額は、9,838円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

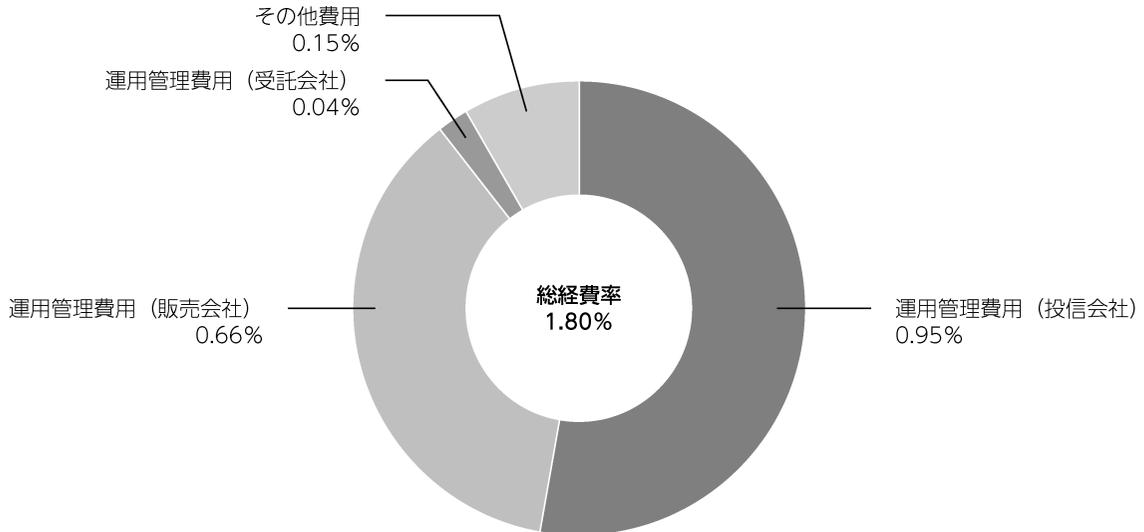
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.80%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月16日～2022年9月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	9,559	14,450	5,912	9,180
マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド	4,614	6,870	3,035	4,690
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	10,148	15,270	9,837	15,500

○株式売買比率

(2022年3月16日～2022年9月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,815,404千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,574,563千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.06

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月16日～2022年9月15日)

利害関係人との取引状況

<オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり> (年2回決算型) >

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
為替先物取引	百万円 571	百万円 156	% 27.3	百万円 574	百万円 154	% 26.8

<マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 4,389	百万円 —	% —	百万円 5,408	百万円 487	% 9.0

平均保有割合 0.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド>

区 分	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 142	百万円 118	% 83.1	百万円 502	百万円 9	% 1.8

平均保有割合 0.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド>

区 分	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$	C	うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 243	百万円 85	% 35.0	百万円 1,480	百万円 264	% 17.8

平均保有割合 0.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年9月15日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	18,743	22,391	35,861
マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド	8,810	10,390	15,320
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	18,945	19,256	30,865

○投資信託財産の構成

(2022年9月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	35,861	38.2
マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド	15,320	16.3
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	30,865	32.8
コール・ローン等、その他	11,942	12.7
投資信託財産総額	93,988	100.0

(注) マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(5,552,692千円)の投資信託財産総額(5,646,670千円)に対する比率は98.3%です。

(注) マッコーリー オーストラリアREITマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(1,846,679千円)の投資信託財産総額(1,861,331千円)に対する比率は99.2%です。

(注) マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(3,308,916千円)の投資信託財産総額(3,336,164千円)に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=143.34円	1オーストラリアドル=96.65円	
-----------------	-------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	173,186,652
コール・ローン等	10,851,673
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド(評価額)	35,861,867
マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド(評価額)	15,320,136
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド(評価額)	30,865,761
未収入金	80,287,215
(B) 負債	82,965,737
未払金	81,886,022
未払収益分配金	378,403
未払信託報酬	699,698
未払利息	11
その他未払費用	1,603
(C) 純資産総額(A-B)	90,220,915
元本	94,600,980
次期繰越損益金	△ 4,380,065
(D) 受益権総口数	94,600,980口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,537円

<注記事項>

- ①期首元本額 69,260,884円
 期中追加設定元本額 27,215,397円
 期中一部解約元本額 1,875,301円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9537円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,380,065円です。

③分配金の計算過程

項 目	2022年3月16日～ 2022年9月15日
費用控除後の配当等収益額	1,000,231円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	3,269,667円
分配準備積立金額	3,318,718円
当ファンドの分配対象収益額	7,588,616円
1万口当たり収益分配対象額	802円
1万口当たり分配金額	40円
収益分配金金額	378,403円

- ④「マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
 「マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
 「マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○損益の状況 (2022年3月16日～2022年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 526
受取利息	3
支払利息	△ 529
(B) 有価証券売買損益	△ 4,292,659
売買益	11,093,541
売買損	△15,386,200
(C) 信託報酬等	△ 701,301
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 4,994,486
(E) 前期繰越損益金	1,420,333
(F) 追加信託差損益金	△ 427,509
(配当等相当額)	(3,214,529)
(売買損益相当額)	(△ 3,642,038)
(G) 計(D+E+F)	△ 4,001,662
(H) 収益分配金	△ 378,403
次期繰越損益金(G+H)	△ 4,380,065
追加信託差損益金	△ 427,509
(配当等相当額)	(3,269,667)
(売買損益相当額)	(△ 3,697,176)
分配準備積立金	3,940,546
繰越損益金	△ 7,893,102

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金 (税込み)	40円
-----------------	-----

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2022年9月15日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お知らせ]

約款変更

AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドのパブリック・マーケッツ部門がマッコーリー・アセット・マネジメント・ホールディングス・ピーティワイ・リミテッドに売却されることに伴い、運用指図権限の委託先の変更およびファンド名称の変更等をするため、信託約款に所要の変更を行いました。

(2022年3月26日)

各マザーファンド名称の変更について

ファンド名称に含まれている「AMP」を「マッコーリー」へ変更

AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

《第9期》決算日2021年10月7日

[計算期間：2020年10月8日～2021年10月7日]

「AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」は、10月7日に第9期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 債券等への投資にあたっては、高水準のインカム収入を確保しつつ、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業績分析等の信用リスク分析に基づき割安度を評価し、銘柄選定を行います。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。また、ファンドの流動性等を勘案して、一部、国債等に投資する場合があります。 オーストラリアドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にオーストラリアドル建てとなるように外国為替予約取引等を行います。 債券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
5期(2017年10月10日)	13,013		14.9	96.8	△8.5	5,308
6期(2018年10月9日)	12,344	△	5.1	95.6	△3.8	8,179
7期(2019年10月7日)	12,226	△	1.0	94.7	△1.5	9,525
8期(2020年10月7日)	12,985		6.2	95.6	0.9	8,444
9期(2021年10月7日)	14,445		11.2	92.1	△0.7	6,838

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2020年10月7日	円 12,985	% —	% 95.6	% —	% 0.9
10月末	12,813	△ 1.3	95.4	—	△6.8
11月末	13,533	4.2	94.9	—	△5.9
12月末	13,928	7.3	94.2	—	△5.7
2021年1月末	14,180	9.2	94.5	—	△1.1
2月末	14,604	12.5	95.0	—	△5.1
3月末	14,762	13.7	94.6	—	△6.7
4月末	14,933	15.0	94.5	—	△3.0
5月末	14,944	15.1	94.8	—	△1.9
6月末	14,765	13.7	95.2	—	△4.7
7月末	14,517	11.8	93.6	—	△0.3
8月末	14,400	10.9	94.1	—	△0.3
9月末	14,362	10.6	92.1	—	△3.4
(期 末) 2021年10月7日	14,445	11.2	92.1	—	△0.7

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・豪州社債市況が上昇したこと等。
- ・債券利子収入を享受したこと等。

●投資環境について

◎債券市況

- ・豪州社債市況は上昇しました。
- ・債券市場では、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展期待等を受けてスプレッド（国債との利回り格差）が縮小したことや債券利子収入を享受したこと等がプラス要因となり、当期を通じてみると同市場は上昇しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは対円で上昇しました。
- ・商品市況が堅調だったこと等から、豪ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行っています。
- ・また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。
- ・デュレーションについては、2021年8月末において市場平均と比べて短めとしました。また、債券種別配分については、相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れました。

○今後の運用方針

- ・豪州では、ハイ・イールド市場を含めた社債市場全体で見ると、デフォルト（債務不履行）率は今後、経済回復に伴い低下することが見込まれます。また、商品価格の上昇等が市場の上昇要因になると考えられます。今後は地政学的リスクの高まり等、想定されるリスク要因をふまえて、米国、豪州の景気動向や金融政策等、豪州社債市況を取り巻く環境を注視しつつ、より慎重な銘柄選択を行っていく方針です。
- ・債券種別については、引き続き相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を組み入れる方針です。ファンドのデュレーションについては、債券先物を適宜活用しつつ市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年10月8日～2021年10月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 1 (1)	% 0.008 (0.008)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.029 (0.029) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	5	0.037	
期中の平均基準価額は、14,310円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年10月8日～2021年10月7日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカドル —	千アメリカドル 1,067 (4,620)
	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル 1,498	千オーストラリアドル —
		社債券	24,526	46,586 (1,500)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国 債券先物取引	百万円 6,864	百万円 7,725	百万円 8,995	百万円 9,783

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月8日～2021年10月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 15,613	百万円 53	% 0.3	百万円 18,122	百万円 731	% 4.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年10月7日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期		末				
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 3,865	千アメリカドル 4,182	千円 465,921	% 6.8	% —	% 3.3	% 3.5	% —
オーストラリア	千オーストラリアドル 69,297	千オーストラリアドル 71,856	5,831,122	85.3	0.3	56.9	20.8	7.6
合 計	—	—	6,297,044	92.1	0.3	60.2	24.3	7.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利 率	当 期	末		償還年月日	
				額面金額	評 価 額		
					外貨建金額		邦貨換算金額
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
	社債券						
	3.65 WOODSIDE FI 250305	3.65	925	983	109,601	2025/3/5	
	4.2 APT PIPELIN 250323	4.2	400	435	48,476	2025/3/23	
	4.375 SCENTRE GRO 300528	4.375	90	103	11,570	2030/5/28	
	4.5 TRANSURBAN QL 280419	4.5	200	224	25,006	2028/4/19	
	4.75 PACIFIC NATI 280322	4.75	600	649	72,301	2028/3/22	
	4.875 MACQUARIE B 250610	4.875	650	719	80,185	2025/6/10	
	FRN SCENTRE GRO 800924	4.75	1,000	1,066	118,780	2080/9/24	
小	計				465,921		
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
	特殊債券						
	1 NBN CO LTD 251203	1.0	1,500	1,475	119,701	2025/12/3	
	2.2 AIRSERV AUST 300515	2.2	500	510	41,417	2030/5/15	
	社債券						
	1.814 AUSGRID FIN 270205	1.814	1,300	1,277	103,662	2027/2/5	
	1.843 SGSP AUSTR 280915	1.843	500	490	39,817	2028/9/15	
	1.9 DWP FINANCE 280804	1.9	700	685	55,658	2028/8/4	
	2.119 AGI FINANCE 270624	2.119	1,400	1,399	113,601	2027/6/24	
	2.25 MACQUARIE UN 300522	2.25	500	500	40,603	2030/5/22	
	2.317 CHARTER HAL 300925	2.317	500	486	39,471	2030/9/25	
	2.4 VER FINCO PTY 280921	2.4	500	493	40,027	2028/9/21	
	2.45 SHOPPING CT 290924	2.45	900	879	71,375	2029/9/24	
	2.4737 ELECTRANET 281215	2.4737	500	494	40,161	2028/12/15	
	2.525 GPT WHL OFF 260112	2.525	1,000	1,044	84,730	2026/1/12	
	2.6 AUSNET SERV 290731	2.6	500	505	41,010	2029/7/31	
	2.6 MIRVAC GROUP 290918	2.6	500	507	41,158	2029/9/18	
	2.656 CHARTER HAL 291217	2.656	600	589	47,854	2029/12/17	
	2.7 WSO FINANCE P 300628	2.7	500	505	40,990	2030/6/28	
	2.75 WOOLWORTHS G 311115	2.75	700	697	56,615	2031/11/15	
	2.849 GPT WHL OFF 320220	2.849	1,000	999	81,111	2032/2/20	
	2.85 LLITST FINAN 300628	2.85	600	592	48,104	2030/6/28	
	2.9 AURIZON NETWO 300902	2.9	1,000	980	79,553	2030/9/2	
	3 AURIZON FINANCE 280309	3.0	500	495	40,185	2028/3/9	
	3 DEXUS FINANCE P 320203	3.0	500	506	41,079	2032/2/3	
	3 EDITH COWAN UNI 290411	3.0	450	473	38,404	2029/4/11	
	3.1 AUST & NZ B 240208	3.1	500	529	42,954	2024/2/8	
	3.15 QANTAS AIRWA 280927	3.15	500	491	39,893	2028/9/27	
	3.15 WESTCONNEX F 310331	3.15	1,100	1,102	89,471	2031/3/31	
	3.2 COMMONWEALT 230816	3.2	2,500	2,630	213,426	2023/8/16	
	3.25 COMMONWEALT 230425	3.25	1,500	1,567	127,240	2023/4/25	
	3.25 TRANSURBAN Q 310805	3.25	500	507	41,153	2031/8/5	
	3.591 GPT WHL OFF 231107	3.591	600	631	51,253	2023/11/7	
	3.6725 GPT WHL OF 240919	3.6725	600	642	52,162	2024/9/19	
	3.7 AUSTRALIAN CA 270803	3.7	500	538	43,726	2027/8/3	
	3.7 DOWNER GROUP 260429	3.7	500	537	43,586	2026/4/29	
	3.75 AUSTRALIAN P 240522	3.75	500	516	41,877	2024/5/22	
	3.75 TRANSURBAN Q 231012	3.75	1,100	1,154	93,700	2023/10/12	

AMP オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

銘柄	銘柄	利率	当期末			償還年月日
			額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	社債券					
	3.85 UNITED ENERG 241023	3.85	2,100	2,283	185,292	2024/10/23
	3.9 BRISBANE AIRP 250424	3.9	1,250	1,338	108,647	2025/4/24
	3.9 SHOPPING CT 240607	3.9	1,500	1,606	130,354	2024/6/7
	4 AURIZON NETWORK 240621	4.0	1,000	1,068	86,679	2024/6/21
	4 CALTEX AUSTRALI 250417	4.0	1,300	1,407	114,194	2025/4/17
	4.2 AUSNET SERV 280821	4.2	500	564	45,787	2028/8/21
	4.225 DBNGP FINAN 250528	4.225	1,000	1,093	88,722	2025/5/28
	4.3 INCITEC PIVOT 260318	4.3	1,000	1,089	88,448	2026/3/18
	4.5 BRISBANE AIRP 301230	4.5	500	550	44,694	2030/12/30
	4.5 WSO FINANCE P 270331	4.5	1,200	1,368	111,031	2027/3/31
	4.75 QANTAS AIRWA 261012	4.75	500	550	44,681	2026/10/12
	5.25 PACIFIC NATI 250519	5.25	1,000	1,102	89,493	2025/5/19
	5.25 QANTAS AIRWA 300909	5.25	1,000	1,103	89,567	2030/9/9
	7.75 QANTAS AIRWA 220519	7.75	2,100	2,189	177,659	2022/5/19
	FRN AMPOL LTD 801209	3.6104	600	627	50,897	2080/12/9
	FRN AUSNET SERV 801006	3.115	1,200	1,227	99,598	2080/10/6
	FRN AUST & NZ B 290726	2.025	1,400	1,441	116,943	2029/7/26
	FRN AUST & NZ B 310226	1.8634	1,200	1,231	99,912	2031/2/26
	FRN BENDIGO AND 301119	1.9623	500	510	41,449	2030/11/19
	FRN COMMONWEALT 300910	1.813	2,500	2,563	208,055	2030/9/10
	FRN COMMONWEALT 310820	1.33	600	601	48,848	2031/8/20
	FRN CROWN LTD PLA 700423	4.0107	287	247	20,077	2075/4/23
	FRN MACQUARIE B 300528	2.9116	1,200	1,267	102,845	2030/5/28
	FRN MACQUARIE B 310617	1.5635	600	602	48,928	2031/6/17
	FRN NATIONAL A 290517	2.1643	2,000	2,064	167,498	2029/5/17
	FRN NATIONAL A 301118	1.71	1,600	1,631	132,389	2030/11/18
	FRN NATIONAL A 311118	3.225	550	570	46,284	2031/11/18
	FRN SUNCORP-MET 281205	2.162	1,600	1,643	133,390	2028/12/5
	FRN SUNCORP-MET 421006	3.215	1,000	1,022	82,981	2042/10/6
	FRN WESTPAC BAN 280614	4.8	1,900	2,017	163,707	2028/6/14
	FRN WESTPAC BAN 290816	4.334	1,800	1,939	157,363	2029/8/16
	FRN WESTPAC BAN 290827	1.99	900	926	75,174	2029/8/27
	VAR AUST & NZ B 270513	4.75	2,900	2,971	241,134	2027/5/13
	VAR WESTPAC BAN 270311	4.5	1,960	1,991	161,640	2027/3/11
	小計				5,831,122	
	合計				6,297,044	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当 期	
			買 建 額	売 建 額
外 国	債券先物取引	NOTE5Y	—	383
		NOTE10Y	—	102
		ULTR10Y 2112	—	113
		AUST5YR 2112	213	—
		AUST10Y	602	—
		AUST3Y	—	264

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2021年10月7日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 6,297,044	% 91.0
コール・ローン等、その他	619,870	9.0
投資信託財産総額	6,916,914	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (6,842,860千円) の投資信託財産総額 (6,916,914千円) に対する比率は98.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=111.40円	1 オーストラリアドル=81.15円	
------------------	--------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年10月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,743,413,767
コール・ローン等	381,600,998
公社債(評価額)	6,297,044,091
未収入金	834,090,429
未収利息	50,340,965
差入委託証拠金	180,337,284
(B) 負債	904,767,956
未払金	847,627,941
未払解約金	57,140,000
未払利息	15
(C) 純資産総額(A-B)	6,838,645,811
元本	4,734,109,848
次期繰越損益金	2,104,535,963
(D) 受益権総口数	4,734,109,848口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,445円

<注記事項>

- ①期首元本額 6,503,053,588円
 期中追加設定元本額 406,698,781円
 期中一部解約元本額 2,175,642,521円
 また、1口当たり純資産額は、期末14,445円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	3,168,177,929円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド(毎月決算型)	1,547,873,882円
オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	18,058,037円
合計	4,734,109,848円

○損益の状況 (2020年10月8日～2021年10月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	254,869,833
受取利息	257,112,745
その他収益金	121,725
支払利息	△ 2,364,637
(B) 有価証券売買損益	685,239,212
売買益	805,869,723
売買損	△ 120,630,511
(C) 先物取引等取引損益	△ 19,846,614
取引益	81,441,726
取引損	△ 101,288,340
(D) 保管費用等	△ 2,284,772
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	917,977,659
(F) 前期繰越損益金	1,941,154,564
(G) 追加信託差損益金	154,161,219
(H) 解約差損益金	△ 908,757,479
(I) 計(E+F+G+H)	2,104,535,963
次期繰越損益金(I)	2,104,535,963

(注) (B) 有価証券売買損益および(C) 先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド (旧ファンド名称「AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド」)

《第9期》決算日2022年9月15日

[計算期間：2022年3月16日～2022年9月15日]

「マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド」は、9月15日に第9期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの株式に投資を行います。 株式等への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当利回り、割安度、業績および経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。 株式等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

「マッコーリー」の商標は、マッコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。
Macquarie Bank Limited (以下「MBL」といいます)を除き、当資料に言及しているマッコーリー並びにマッコーリー関連会社はどれも1959年銀行法(オーストラリア連邦)上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円騰落率	期中騰落率	S&P/ASX 200指数 (配当込み、円換算ベース)	期中騰落率			
5期(2020年9月15日)	9,260	25.1%	10,318	26.1%	96.6%	—	百万円 5,509
6期(2021年3月15日)	12,762	37.8%	13,224	28.2%	97.4%	—	5,412
7期(2021年9月15日)	13,425	5.2%	14,045	6.2%	96.5%	—	4,745
8期(2022年3月15日)	14,617	8.9%	14,603	4.0%	97.8%	—	4,104
9期(2022年9月15日)	16,029	9.7%	16,238	11.2%	95.4%	—	3,263

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
(注) S & P / ASX 200指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所上場の浮動株調整時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。S & P / ASX 200指数(配当込み、円換算ベース)とは、S & P / ASX 200指数(配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S & P / ASX 200はS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJII」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJII、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / ASX 200指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。
(注) 参考指数にはリートが含まれておりますが、実際の運用ではリートには投資していません。
(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S & P / A S X 200指数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	(配 当 込 み 、 円換算ベース)	騰 落 率			
(期 首) 2022年 3月15日	円	%		%	%	%
	14,617	—	14,603	—	97.8	—
3月末	16,507	12.9	16,617	13.8	96.3	—
4月末	16,204	10.9	16,007	9.6	97.0	—
5月末	16,138	10.4	16,174	10.8	97.1	—
6月末	14,912	2.0	15,213	4.2	96.8	—
7月末	15,265	4.4	15,695	7.5	96.2	—
8月末	15,941	9.1	16,176	10.8	96.9	—
(期 末) 2022年 9月15日	16,029	9.7	16,238	11.2	95.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

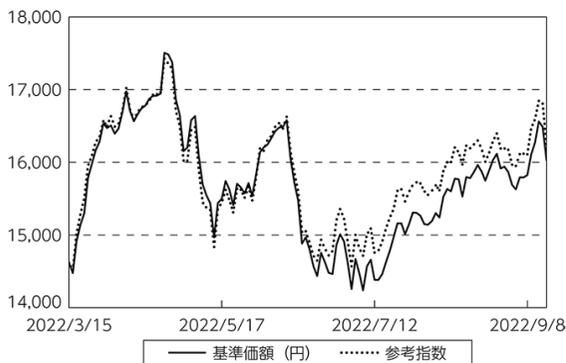
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ9.7%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・豪ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

- ・保有銘柄のEVOLUTION MINING LTDやWESTPAC BANKING CORPなどの株価が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎株式市況

- ・オーストラリア株式市況は下落しました。
- ・期初から2022年6月にかけては、中国での都市封鎖や各国中央銀行の金融引き締め加速への警戒感などを背景に景気後退懸念が高まったことなどから下落しました。その後は、オーストラリアや米国などの一部経済指標でインフレの鈍化が見られたことなどから上昇しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。
- ・銘柄入替では、高い配当利回りと安定した利益成長が見込まれると判断したことなどからSMARTGROUP CORP LTDなどを新規に組み入れました。一方で、金利上昇が事業環境に悪影響を及ぼすと判断したことなどからBRICKWORKS LTDなどを全株売却しました。

○今後の運用方針

- ・引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年3月16日～2022年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 9 (9)	% 0.060 (0.060)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	14 (14)	0.091 (0.091)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	23	0.152	
期中の平均基準価額は、15,706円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月16日～2022年9月15日)

株式

外 国	買 付	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
オーストラリア	百株	千オーストラリアドル	百株	千オーストラリアドル	
	13,684	14,148	94,219	26,972	
	(155)	(-)			

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年3月16日～2022年9月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	3,815,404千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,574,563千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.06

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月16日～2022年9月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 243	百万円 85	% 35.0	百万円 1,480	百万円 264	% 17.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年9月15日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
BHP GROUP LTD	653	1,096	4,232	409,025	素材
CSL LTD	52	45	1,308	126,499	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	—	398	1,289	124,588	エネルギー
AUST AND NZ BANKING GROUP	728	670	1,537	148,616	銀行
RIO TINTO LTD	—	132	1,256	121,422	素材
QBE INSURANCE GROUP LTD	573	494	608	58,806	保険
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	198	176	1,671	161,547	銀行
WESTPAC BANKING CORP	1,178	484	1,026	99,201	銀行
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	457	394	1,157	111,858	銀行
BRAMBLES LTD	366	—	—	—	商業・専門サービス
TELSTRA CORP LTD	3,608	4,622	1,793	173,355	電気通信サービス
COMPUTERSHARE LTD	—	399	988	95,536	ソフトウェア・サービス
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	1,817	1,566	676	65,416	小売
ORIGIN ENERGY LTD	1,483	1,207	708	68,513	公益事業
SONIC HEALTHCARE LTD	159	137	446	43,117	ヘルスケア機器・サービス
SUNCORP GROUP LTD	—	705	758	73,299	保険
BLUESCOPE STEEL LTD	—	467	776	75,060	素材
METCASH LTD	2,541	2,594	1,063	102,815	食品・生活必需品小売り
AURIZON HOLDINGS LTD	4,414	2,641	964	93,198	運輸
TREASURY WINE ESTATES LTD	613	—	—	—	食品・飲料・タバコ
STAR ENTERTAINMENT GRP LTD/T	4,658	—	—	—	消費者サービス
APA GROUP	982	—	—	—	公益事業
RAMSAY HEALTH CARE LTD	75	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ANSELL LTD	336	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
JB HI-FI LTD	149	129	526	50,849	小売
HEALIUS LTD	2,313	1,821	657	63,542	ヘルスケア機器・サービス
IGO LTD	990	636	926	89,543	素材
MEDIBANK PRIVATE LTD	—	2,631	936	90,527	保険
SOUTH32 LTD	3,940	2,573	1,111	107,453	素材
VIRGIN MONEY UK PLC - CDI	3,993	1,421	363	35,168	銀行
EVOLUTION MINING LTD	2,242	—	—	—	素材
ESTIA HEALTH LTD	7,256	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
GENWORTH MORTGAGE INSURANCE	7,187	2,976	824	79,691	銀行
REGIS HEALTHCARE LTD	6,987	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
SPARK NEW ZEALAND LTD	—	1,690	802	77,609	電気通信サービス
SERVICE STREAM LTD	6,056	—	—	—	資本財
COLES GROUP LTD	538	581	970	93,831	食品・生活必需品小売り
AUB GROUP LTD	552	275	572	55,288	保険
AMCOR PLC-CDI	—	437	774	74,814	素材
MINERAL RESOURCES LTD	434	—	—	—	素材
BEACH ENERGY LTD	3,327	—	—	—	エネルギー
SUPER RETAIL GROUP LTD	853	—	—	—	小売
BRICKWORKS LTD	513	—	—	—	素材
SYRAH RESOURCES LTD	7,969	—	—	—	素材
WARREGO ENERGY LTD	29,158	—	—	—	エネルギー
NICKEL INDUSTRIES LTD	3,991	—	—	—	素材

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
ADAIRS LTD	1,839	1,309	264	25,562	
REDBUBBLE LTD	2,798	—	—	—	
SMARTGROUP CORP LTD	—	658	369	35,666	
INGHAMS GROUP LTD	—	1,292	327	31,612	
NEW HOPE CORP LTD	—	946	519	50,233	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	117,996 40	37,617 33	32,211 —	3,113,276 <95.4%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2022年9月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 3,113,276	% 93.3
コール・ローン等、その他	222,888	6.7
投資信託財産総額	3,336,164	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（3,308,916千円）の投資信託財産総額（3,336,164千円）に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=96.65円			
--------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,397,804,839
コール・ローン等	59,693,478
株式(評価額)	3,113,276,172
未収入金	161,277,714
未収配当金	63,557,475
(B) 負債	134,362,966
未払金	72,542,950
未払解約金	61,820,000
未払利息	16
(C) 純資産総額(A-B)	3,263,441,873
元本	2,035,938,071
次期繰越損益金	1,227,503,802
(D) 受益権総口数	2,035,938,071口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,029円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,808,202,829円
 期中追加設定元本額 167,584,766円
 期中一部解約元本額 939,849,524円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.6029円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	2,016,681,872円
オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	19,256,199円
合計	2,035,938,071円

[お知らせ]

AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドのパブリック・マーケティング部門がマッコーリー・アセット・マネジメント・ホールディングス・ピーティーワイ・リミテッドに売却されることに伴い、運用指図権限の委託先の変更およびファンド名称の変更等をするため、信託約款に所要の変更を行いました。

ファンド名称の変更について

変更前: AMP オーストラリア高配当株式マザーファンド

変更後: マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド

運用指図権限の委託先の変更について

変更前: AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッド

変更後: マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッド

(2022年3月26日)

○損益の状況 (2022年3月16日~2022年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	99,500,828
受取配当金	99,407,943
受取利息	39,177
その他収益金	57,100
支払利息	△ 3,392
(B) 有価証券売買損益	300,725,129
売買益	700,316,728
売買損	△ 399,591,599
(C) 保管費用等	△ 3,311,619
(D) 当期損益金(A+B+C)	396,914,338
(E) 前期繰越損益金	1,296,524,706
(F) 追加信託差損益金	81,025,234
(G) 解約差損益金	△ 546,960,476
(H) 計(D+E+F+G)	1,227,503,802
次期繰越損益金(H)	1,227,503,802

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド (旧ファンド名称「AMP オーストラリアREITマザーファンド」)

【第15期】決算日2022年9月15日

[計算期間：2022年3月16日～2022年9月15日]

「マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド」は、9月15日に第15期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資を行います。不動産投資信託証券への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割当度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。不動産投資信託証券等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

「マッコーリー」の商標は、マッコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。
Macquarie Bank Limited (以下「MBL」といいます)を除き、当資料に言及しているマッコーリー並びにマッコーリー関連会社はどれも1959年銀行法(オーストラリア連邦)上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		投資信託証券組入比率	純資産額
	円	騰落率	S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)	騰落率		
11期(2020年9月15日)	10,600	9.8	10,301.68	11.3	97.1	2,959
12期(2021年3月15日)	12,498	17.9	12,448.96	20.8	97.6	2,930
13期(2021年9月15日)	14,766	18.1	14,326.57	15.1	98.6	2,586
14期(2022年3月15日)	15,003	1.6	14,834.72	3.5	97.2	2,240
15期(2022年9月15日)	14,745	△1.7	14,873.87	0.3	97.1	1,857

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S&P/ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P/ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社が付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社それぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S&P/ASX 200 A-REIT Index (配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス)		投 資 信 託 券 率 組 入 比
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期首) 2022年3月15日	円	%		%	%
	15,003	—	14,834.72	—	97.2
3月末	16,916	12.8	16,685.51	12.5	98.8
4月末	16,668	11.1	16,432.10	10.8	97.6
5月末	15,224	1.5	15,248.31	2.8	96.9
6月末	14,085	△ 6.1	14,282.45	△ 3.7	98.0
7月末	15,030	0.2	15,191.98	2.4	96.7
8月末	15,158	1.0	15,275.55	3.0	95.8
(期末) 2022年9月15日	14,745	△ 1.7	14,873.87	0.3	97.1

(注) 騰落率は期首比。

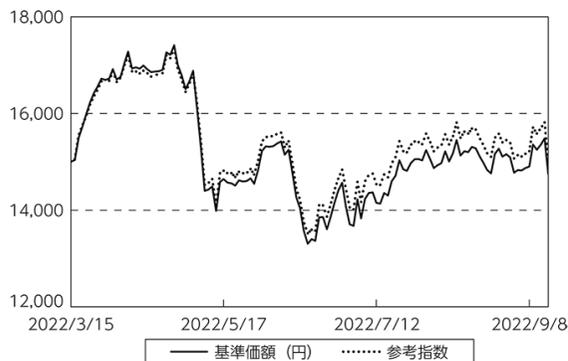
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.7%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・豪ドルが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

- ・ファンドで保有する銘柄がローカルベースで下落したことが、基準価額の下落要因となりました。保有銘柄の中では、「GOODMAN GROUP」(工業用)や「CHARTER HALL GROUP」(各種・分散投資型)などが下落しました。

●投資環境について

◎オーストラリアREIT市況

- ・オーストラリアREIT市況は、期を通しては下落しました。
- ・米国やオーストラリアでの金融引き締め策により、景気悪化懸念などが意識されたことなどが背景です。また倉庫需要が減退していること等への警戒感も、投資家心理を慎重な姿勢へと変化させました。

◎為替市況

- ・豪ドルは、期を通しては対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・REITへの投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行いました。

○今後の運用方針

- ・オーストラリアREIT市場では、高金利と高インフレ、景気後退リスクの高まりなど、新しい経済環境やリスクに直面しており、質を重視した投資戦略が重要性を増していると考えています。持続可能な成長が期待され、財務の健全性が高いなどの高品質な不動産への投資機会を探る方針です。
- ・運用につきましては、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年3月16日～2022年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 7 (7)	% 0.044 (0.044)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	25 (18) (7)	0.162 (0.118) (0.044)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	32	0.206	
期中の平均基準価額は、15,219円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月16日～2022年9月15日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
オーストラリア	千口	千オーストラリアドル	千口	千オーストラリアドル
VICINITY CENTRES	308	577	72	131
ABACUS PROPERTY GROUP	2	5	19	60
INGENIA COMMUNITIES GROUP	—	—	101	459
CHARTER HALL GROUP	13	182	53	733
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	16 (7)	49 (22)	48	138
NATIONAL STORAGE REIT	24 (7)	56 (17)	59	143
SCENTRE GROUP	345	984	183	525
ARENA REIT	41 (0.79)	187 (3)	16	75
CHARTER HALL LONG WALE REIT	33 (2)	171 (12)	188	845
RURAL FUNDS GROUP	0.87 (0.909)	2 (2)	17	52
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	70 (1)	216 (6)	22	77
CENTURIA CAPITAL GROUP	—	—	51	126
HOMEKO DAILY NEEDS REIT	179 (11)	238 (16)	102	142
ABACUS PROPERTY GROUP	14	47	—	—
DEXUS/AU	15	168	45	454
HEALTHCO REIT	— (5)	— (9)	45	74
HOME CONSORTIUM LTD	8	48	78	423
GPT GROUP	109	521	250	1,128
MIRVAC GROUP	17	38	124	289
STOCKLAND	10	41	51	208
CHARTER HALL RETAIL REIT	115	476	31	127
GOODMAN GROUP	16	310	83	1,727
小計	1,343 (38)	4,325 (95)	1,650	7,946

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月16日～2022年9月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	142	118	83.1	502	9	1.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年9月15日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリアドル	千円	%	
VICINITY CENTRES	281	517	983	95,093	5.1	
ABACUS PROPERTY GROUP	111	107	279	27,056	1.5	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	100	—	—	—	—	
CHARTER HALL GROUP	141	101	1,278	123,549	6.7	
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	299	275	717	69,346	3.7	
NATIONAL STORAGE REIT	353	325	793	76,708	4.1	
SCENTRE GROUP	916	1,078	3,019	291,823	15.7	
ARENA REIT	85	111	447	43,241	2.3	
CHARTER HALL LONG WALE REIT	151	—	—	—	—	
RURAL FUNDS GROUP	50	34	91	8,800	0.5	
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	144	193	581	56,240	3.0	
CENTURIA CAPITAL GROUP	188	136	255	24,730	1.3	
HOMECO DAILY NEEDS REIT	389	478	600	58,063	3.1	
DEXUS/AU	134	104	861	83,311	4.5	
HEALTHCO REIT	220	179	297	28,791	1.5	
HOME CONSORTIUM LTD	122	51	256	24,756	1.3	
GPT GROUP	247	105	433	41,944	2.3	
MIRVAC GROUP	638	531	1,099	106,251	5.7	
STOCKLAND	254	213	737	71,303	3.8	
CHARTER HALL RETAIL REIT	—	83	334	32,351	1.7	
GOODMAN GROUP	366	298	5,587	540,010	29.1	
合 計	口 数 ・ 金 額	5,198	4,929	18,658	1,803,376	
	銘 柄 数 < 比 率 >	20	19	—	< 97.1% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

純資産総額の10%を超える不動産ファンドに関する組入投資信託証券の内容

●GOODMAN GROUP（期末組入比率29.1%）

① 信託の概要

グッドマンは、商業用および産業用不動産の所有、開発、運営を行うリートで、グローバルに倉庫、大規模物流施設やオフィスなどを展開しています。S & P / A S X 200 A - R E I T I n d e xにおいて約27.1%を占めます。

② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.goodman.com/>

●SCENTRE GROUP（期末組入比率15.7%）

① 信託の概要

センター・グループは、豪州とニュージーランドでショッピングセンターの保有、運営を行っています。S & P / A S X 200 A - R E I T I n d e xにおいて約11.1%を占めます。

② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <https://www.scentregroup.com/>

○投資信託財産の構成

(2022年9月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 1,803,376	% 96.9
コール・ローン等、その他	57,955	3.1
投資信託財産総額	1,861,331	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (1,846,679千円) の投資信託財産総額 (1,861,331千円) に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=96.65円		
--------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,861,331,592
コール・ローン等	40,567,298
投資証券(評価額)	1,803,376,867
未収配当金	17,387,427
(B) 負債	3,760,015
未払解約金	3,760,000
未払利息	15
(C) 純資産総額(A-B)	1,857,571,577
元本	1,259,827,504
次期繰越損益金	597,744,073
(D) 受益権総口数	1,259,827,504口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,745円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,493,569,085円
 期中追加設定元本額 161,819,748円
 期中一部解約元本額 395,561,329円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.4745円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

オーストラリア好利回り3資産バランス(年2回決算型)	1,087,985,166円
三菱UFJ/マッコーリー オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	161,452,283円
オーストラリア好利回り3資産バランス<為替ヘッジあり>(年2回決算型)	10,390,055円
合計	1,259,827,504円

○損益の状況 (2022年3月16日~2022年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	33,139,801
受取配当金	33,126,940
受取利息	14,277
その他収益金	913
支払利息	△ 2,329
(B) 有価証券売買損益	△ 43,500,826
売買益	302,477,149
売買損	△345,977,975
(C) 保管費用等	△ 3,321,458
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 13,682,483
(E) 前期繰越損益金	747,224,975
(F) 追加信託差損益金	77,730,252
(G) 解約差損益金	△213,528,671
(H) 計(D+E+F+G)	597,744,073
次期繰越損益金(H)	597,744,073

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お 知 ら せ】

AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドのパブリック・マーケティング部門がマッコーリー・アセット・マネジメント・ホールディングス・ピーティーワイ・リミテッドに売却されることに伴い、運用指図権限の委託先の変更およびファンド名称の変更等をするため、信託約款に所要の変更を行いました。

ファンド名称の変更について

変更前：AMP オーストラリアREITマザーファンド

変更後：マッコーリー オーストラリアREITマザーファンド

運用指図権限の委託先の変更について

変更前：AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッド

変更後：マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッド

(2022年3月26日)